

# 道央農業振興公社について

## 1. 公社設立目的

恵庭市・北広島市・千歳市・江別市の4市地域内における地域農業・農村の維持発展と農業の多面的機能の発揮に寄与する。

## 2. 主な公社事業

●担い手別の育成事業（新規就農者育成・後継者育成・主要農業者育成）

●農用地の利用調整事業（農地利用権設定調整・農地の面的集積推進）

●恵庭市・千歳市の公共牧場委託管理事業

※公社事業のメリット：広域を活かした担い手育成受入。4市の行政境界地の農地利用が円滑に利用され集積性がある。4市の利点を活かした農業振興の共有がされる。

## 3. 公社の組織構成

評議員会（4市・4市農業委員会・JA道央）

↓  
理事会（4市・JA道央）

— 監事（JA道央・行政経験者）

↓  
理事長・副理事長

— 地域担い手育成センター・農地利用集積円滑化団体

↓  
常務理事

— 業務推進委員会（4市各地区の農用地利用計画会議）

↓  
事務局

◎総務部：総務課（総務,財務,管理）・管理課（公共牧場事業・労働力確保支援）

◎業務部：担い手支援課（育成事業）

：農地・経営支援課（農地利用調整事業・農産物生産支援事業）

担い手支援センター（4市各地区 H19 設置）

## 4. 公社のこれまでの経過

H17 財団法人道央農業振興公社設立・農地保有合理化事業規程（共に知事承認）

H20 地域担い手育成センター知事承認。（4市育成センターを統合したセンター）

H22 農地利用集積円滑化事業規程（4市承認。農地利用集積円滑化団体）

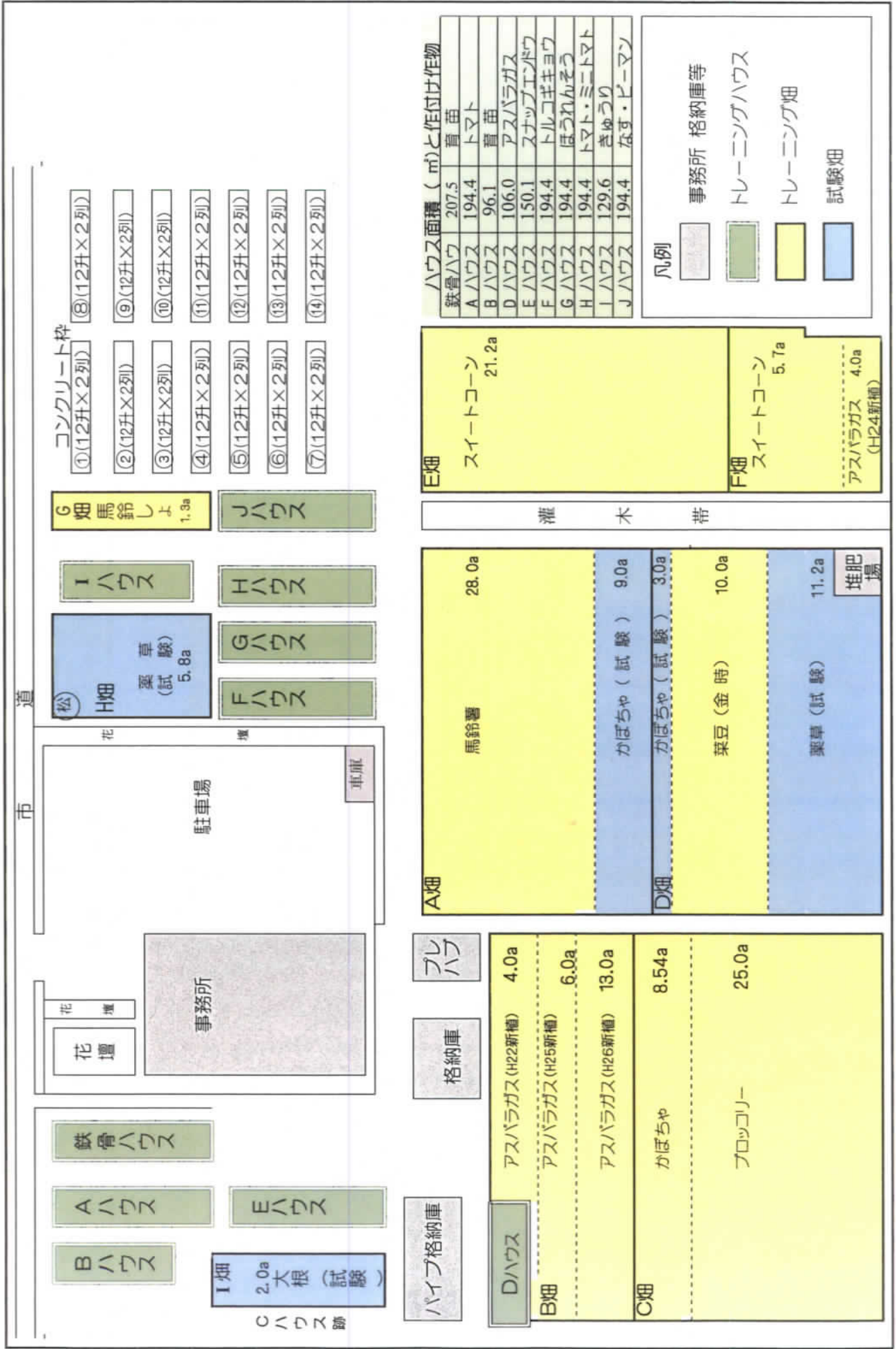
H25 公益財団法人へ移行

## 5. 参考

●恵庭市農業活性化支援センター：総合的農業振興支援目的として設置し、平成9年4月より本格供用開始。恵庭市と恵庭市農協（農地保有合理化法人）間で管理運営の協定締結。試験研究・研修事業・情報収集と提供・農地流動化と農作業受委託推進支援等の業務実施。

●H17公社へ管理委託。公社への運営負担割合は4市（恵庭市・北広島市・千歳市・江別市）、道央農協に共通した事業（担い手育成事業・農用地の利用調整事業及び管理費）に対して応分割合・農家戸数・耕地面積比率により算出。

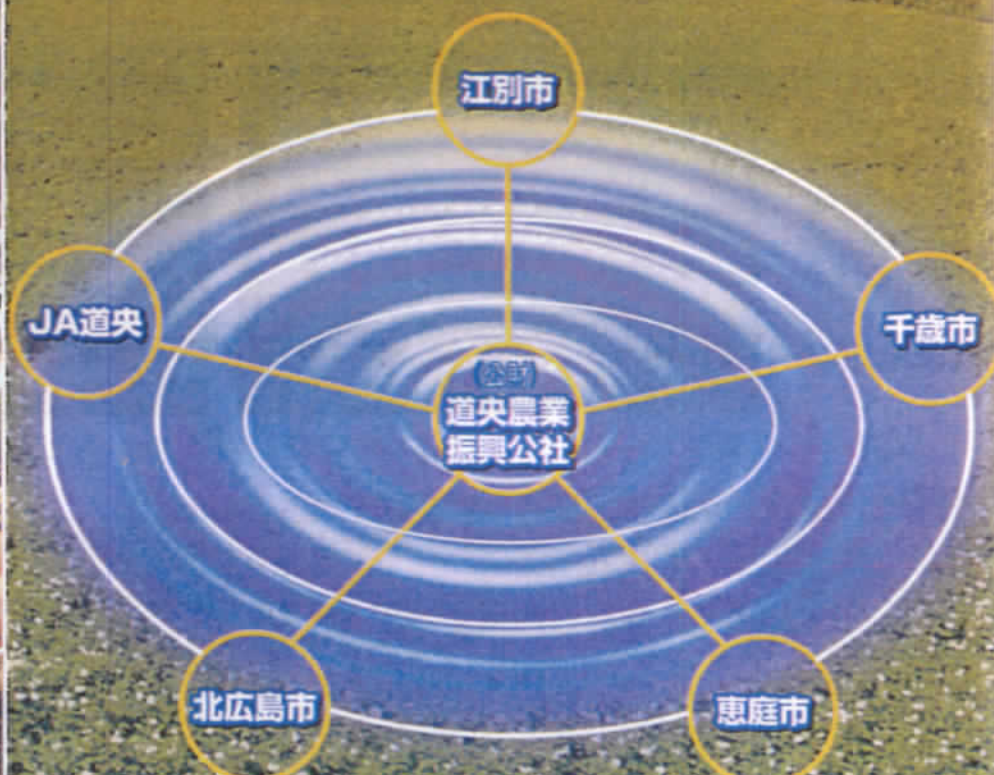
平成28年度（公財）道央農業振興公社試験圃場及び新規就農トレーニング圃場図





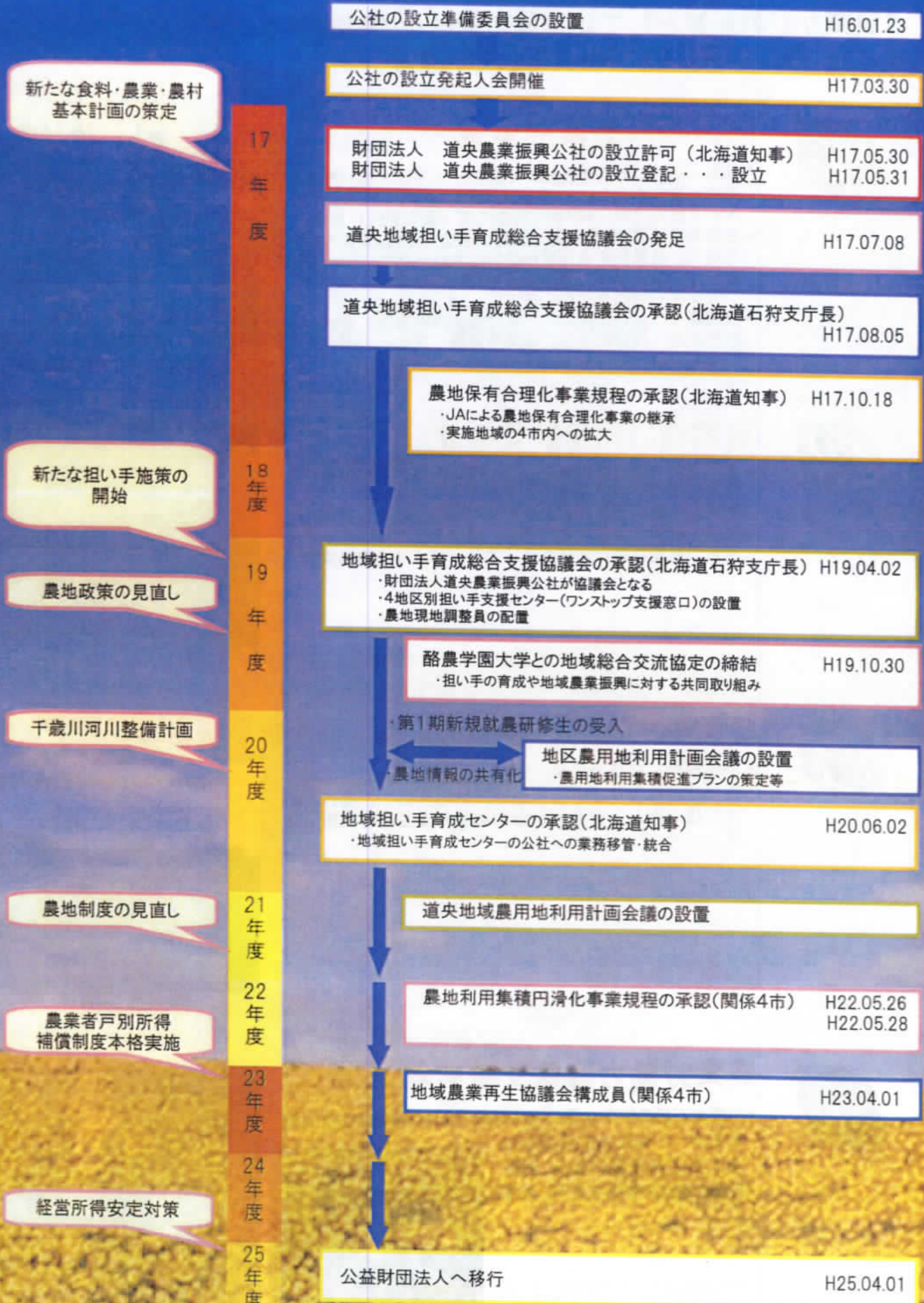
# 地域農業の振興と、 新たな地域コミュニティの創造を…

Corporate Guide  
事業案内





# 公社の設立と組織整備の経過



# 公益財団法人道央農業振興公社の業務

農業が基幹産業として地域経済活性化の役割を果たすため、以下の事業により、農業振興のサポートをしています。



## 担い手別の育成事業

- 農業・農村の維持活性化のために地域農業の担い手を積極的に育成するため、地域担い手支援センター（ワンストップ支援窓口）の相談体制の充実・強化を図ります。
- 主要農業者（認定農業者・農業生産法人等）の育成を基本として、農業研修希望者への対応を行うと共に、新規就農研修生を受け入れ、実践用研修圃場としてのトレーニングセンター機能を充実します。
- 農業研修希望者を受け入れ、女性層・高齢者層を含めた担い手育成・確保に向けた事業を実施します。



研修ハウスで受講する研修生



## 農用地の利用調整事業

- 地域農業・農村の継続と発展を図るため、農地利用集積円滑化事業の中間保有機能を生かし、関係機関・団体と連携して地区での合意形成を経ながら、将来を見据えた「人・農地プラン」を推進し、地域の生産資源である農用地の有効活用と地域コミュニティづくりを進めます。



効率的な土地利用による農業経営



## 生産性の向上と安全安心な農産物生産支援事業

- 関係機関・団体と連携・分担し、公社圃場で新品種や栽培技術改善などの各種栽培試験を実施し、農作物の生産性の向上と安全・安心な農産物の生産を支援します。



適地品種選定圃場



## 農業労働力確保支援事業

- 労働力不足の解消や重労働の軽減のため、道央農協が実施するパート労働者の登録による人材確保事業に伴う、労賃支払い業務の支援を実施します。



労働力効率化支援事業のパートの皆さん



## 酪農・畜産関連の受託事業

- 酪農・畜産関連業務の中で、関係市における市営牧場の運営管理等を受託し広域的な運営を行うことにより、合理的かつ効果的な事業を実施します。



受託管理施設(千歳市営牧場)



## その他目的を達成するために必要な事業

- 都市住民・消費者への情報提供や食農教育を含め、農業生産者と消費者とが理解を深め合う交流活動の支援事業を行います。



食農教育も含め、消費者交流支援に力を入れています

# 道央農業一口メモ

### A 地域農業の特徴

このエリアは、北海道をリードする道央複合都市圏として、大消費地札幌市に隣接しています。

主要作物は米、小麦、てんさい、小豆、大豆、馬鈴薯、野菜・花卉・果物類などで、多品目生産なのが特徴です。

酪農畜産も乳牛、肉牛、豚、鶏卵など、多岐にわたった経営が展開されています。



### B エリア内農業産出額

地区	農業経営体数(戸)	経営耕地(ha)	産出額(千万円)
江別市	420	6,429	608
千歳市	210	5,345	1,363
恵庭市	245	3,489	553
北広島市	121	1,333	485
合計	996	16,596	3,009

(2010農業センサス)

(2005北海道農林水産統計)

### C エリア内作付け動向

部門別産出額(千万円)	
水稻	216
畑作物	423
野菜	635
(内花卉)	(84)
酪農・畜産	1,735
合計	3,009

(2005北海道農林水産統計)

# あなたの就農をバックアップします……

## 新規就農研修概要

- ・対象者：道央地域(江別市、千歳市、恵庭市、北広島市)において個別経営で新規参入を目指す概ね35歳以下の者。毎年2～3名。
- ・募集：毎年10月～11月の間で募集。12月受入可否。4月研修開始。

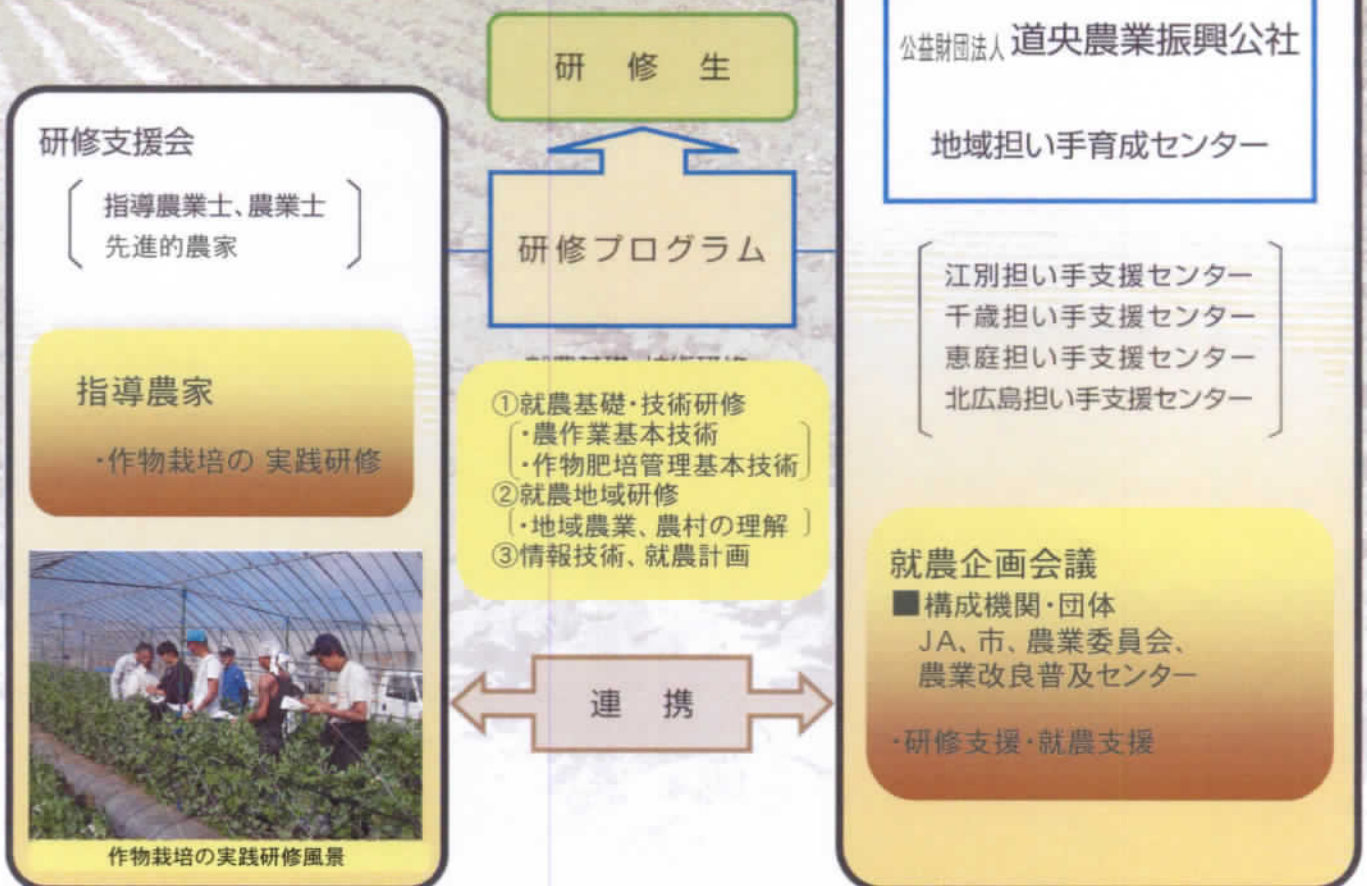


- 研修期間・内容は本人の農業経験で異なる。(2～3年)
- 就農計画を立て各市の認めを得て青年等就農計画認定者となる。
- 期間中は、当会社での集合研修、道立農業大学校(機械・経営)等研修受講。



地域担い手支援センター(ワンストップ支援窓口)

## 就農研修体制図







## 農地保有合理化・農地利用集積円滑化事業の推移

